

ぽっと明かりが灯る夕暮れどき。

たとえば民家の庭先に住む虫になって、

浅川の暮らしに

じっと目をこらしてみよう。

葉っぱの陰からそっと顔をのぞかせると、

やさしい土の匂いに包まれて、

道ゆく人の姿が、

とてもたくましく大きく映り込む。

ゆったりとした足どりで歩く人、

風のようにすり抜ける自転車、

立ち止まって言葉を交わす人びと……。

虫になってみる大地からの情景。

何気ない光景から見えてくるあたたかい日常に、

浅川の人々の生き方が、そしてまちの姿が、

はつきりと見えてくる。

